

◇編集後記◇

棲神六十一号をお届けします。

宗祖七百遠忌の記念事業の掉尾を飾る図書館が、昭和六十三年十一月二十九日竣工落成しました。学園にとつての宿願が果たされ、この上なき慶事と存じます。

申すまでもなく、図書館は大学の生命であり、講義も研究も図書館の充実と深い関わりを持つものであります。

図書館には、日蓮聖人の教学及び教団史等に関する文献・文書類を集め、また法華経関係の文献等をも整えて研究者への資料の提供とともに、後に続く人材育成にも役立つものと念願するものであります。

さて、恒例ですと第四十一回の日蓮宗教学研究発表大会は本学が当番でありましたが、昭和六十三年は一妙院日導上人の第二百遠忌に相当しましたので、上人ゆかりの肥後本妙寺が会場となりました。遠隔の地にもかかわらず

らず多数の参加を得、活発な発表・質疑等がなされました。本学からは宮崎英修学長以下八名が出席しました。そして、日導上人に関する特別記念講演として本学代表の町田是正先生が「綱要導師の宗学意識」と題して講演されました。

なお、平成元年の第四十二回の大会は本学が当番校となり、十月二十七日（金）・二十八日（土）の両日にわたって行なわれます。会員諸賢、何卒平素のご研鑽の一端をご発表いただきたく存じます。

また、三年に一度の本学園同窓会の大会も、教学大会前日（十月二十六日）に開催される運びとなりました。ご関係の諸賢、ご予定下さいますようお願い申し上げます。

昭和から平成の時代へ。改元された「平成」は、「内平かに外成る（史記）・地平かに天成る（書経）」の意があるとのこと。世界の永久平和を祈念するものであります。